無所属　江口　友子 議員

国民健康保険税の値上げを市長に問う

問　具体的な世帯を例に本市の国民健康保険税の引き上げ状況について質問したが、30歳で年収200万円の単身世帯の場合、値上げ率は約12%、年間保険税額は12万4900円になるということだった。また夫が40歳で年収200万円、妻が35歳で年収100万円の、小学生の子供二人がいる世帯では、月々の保険税額が2万円になる。この世帯の場合、平成18年度時と比べて年間保険税額は5万円も高くなる。年収200万円以下の世帯が多くなっている中で値上げを決めた市長の判断をあらためて聞かせてほしい。

市長　年収200万円以下の世帯が多いかどうかは分からないが、大きな負担になっており厳しいことだと率直に思う。しかし国民健康保険事業を持続させるために値上げはやむをえないと考える。

問　市長は市内の年収200万円以下の世帯が多いかどうか分からないと言うが、4万3855件の国民健康保険加入世帯のうち、年間所得が103万円から200万円の世帯が23・85%で最も多い。所得のない世帯も20・35%ある。国民健康保険税を値上げしても滞納は増えないとのことだが、どこまでならば市民が払えると考えているのか。

市長　税額の減免などで救済する方法もあるので、ご理解いただきたい。

無所属　高橋　紀英 議員

市民参加のまちづくりについて

問　本市は自治基本条例で、市民の市政への参加の原則を定めているが、現状はどうか。

市民部長　審議会などの公募市民枠の拡大や、パブリックコメントの制度化等により、市民の市政への参加機会は着実に増えている。

問　地域に目を移すと、自治会などの地域活動における担い手不足が顕著になっている。行政として何らかの対策はあるのか。

市民部長　役員負担の分散化や、引き継ぎ時の事務マニュアルの作成で負担解消に取り組んでいる先進的な事例の研究や、市から依頼する回覧物の削減等を行っている。また、平成22年12月から地域情報共有ホームページ「地元密着ちいき情報局」の運用を開始し、若い世代の地域への関心を高め、新たな担い手の創出に取り組んでいる。

問　市職員も、自らが暮らす地域では「一住民」である。市職員が地域活動に積極的に参加することについて、どのように考えているのか。

市民部長　市民とともにまちづくりを進めるために、市職員が地域活動へ参加することは有意義である。PTAや自治会など地域のさまざまな分野の活動に参加していることも承知しているが、個人の自発的な意思によるので、機会をとらえて地域活動への積極的な参加を呼びかけたい。

無所属　厚見　利子 議員

ごみ処理広域化実施計画骨子案について

問　骨子案では平成24年から25年の焼却残さの資源化量は約5000㌧増え、最終処分量が約1万㌧減るとあるが、その差はどこからくるのか。

環境部長　新旧の環境事業センターの処理方法の違いによるものである。現在、焼却炉から出る焼却残さは約1万㌧であり、その中身は灰とコンクリートや水分を混ぜたものである。新施設から出る灰は5000㌧と予測され、全量資源化されるので5000㌧の差が出てくる。

問　焼却残さが大磯町・二宮町と比較して多いのはなぜか。

環境部長　灰の飛散を防止するためにセメントで固化したり水分を加えたりしているので5000㌧増える。それが本市の焼却残さが多い理由である。

問　平成27年に剪定枝の資源化、平成29年に厨芥類の資源化をするということで各4000㌧という量を算出していながら、なぜ施設規模が示されていないのか。

環境部長　骨子案は、役割分担や基本的な施策、方向性をまとめたもので、具体的な施設規模などはパブリックコメント等を参考にし、平成23年夏ごろまでに実施計画の中で示していく。

問　パブリックコメントを出しやすい、わかりやすい骨子案が必要ではないか。

環境部長　なお一層わかりやすい計画づくりをしたい。

3月定例会の質問者と主な項目

※発言通告から主な項目を抜粋

《代表質問》議員名：所属会派名等（質問時間）

片倉　章博：平塚クラブ（40分）
- 1　議案第19号　平成23年度平塚市一般会計予算
- 2　絆の前進
  - (1) 産業の活性化について
- 3　平塚市の民営化
  - (1) 指定管理者制度について
- 4　子どもにツケを回さない
  - (1) 行財政改革と財政の見通し

山原　栄一：湘南民主クラブ（45分）
- 1　市長勇退
- 2　平塚市総合計画「生活快適・夢プラン」から
- 3　平成23年度当初予算から
- 4　三つの大型事業について

須藤　量久：清風クラブ（35分）
- 1　市長に問う
  - (1) 2期8年を振り返って
  - (2) 平成23年度当初予算について
  - (3) 主な事業から
    - ア　市民提案型協働事業
    - イ　ひらつか花アグリ推進事業
- 2　教育長に問う
  - (1) 基本方針
  - (2) 主な事業から
- 3　平塚市産業振興計画について
  - (1) 観光・平塚の地域資源を生かしたまちづくり

松崎　清子：公明ひらつか（40分）
- 1　市長に問う
  - (1) 平成23年度予算編成から
    - ア　財政健全化への取り組みについて
  - (2)「子ども手当」について
  - (3) 雇用と地域経済対策
  - (4) 公会計制度の改革
    - ア　複式簿記の導入
- 2　教育長に問う
  - (1) 生きる力を育む教育
    - ア　フリーターの実態とキャリア教育
- 3　諸課題
  - (1) 市有土地の管理と運用について
  - (2) 指定管理者制度について
  - (3) 交通事故件数増加の現状と安全対策

《総括質問》議員名：所属会派名等（質問時間）

出縄　喜文：平塚クラブ（25分）
- 1　ひらつか協働経営プラン2011
  - (1) 指定管理者制度導入推進事業
    - ア　基準と運用について
    - イ　今後の方向性
  - (2) 職員給与費適正化事業
  - (3) 定員適正化計画推進事業
- 2　平塚市産業振興計画
  - (1) 農業振興について
    - ア　間接投資から直接投資へ

府川　正明：湘南民主クラブ（30分）
- 1　心のよりどころへの支援
- 2　高齢者対策
  - (1) 買い物弱者への対応は
- 3　改正消防法について
- 4　大浜地区土地区画整理事業
  - (1) 都市計画案に対しての再検討は
  - (2) 新港背後地との連携整備は
  - (3) ホームレス問題
- 5　漁業観光事業への取り組み
  - (1) 新港整備事業の今後は

落合　克宏：清風クラブ（20分）
- 1　まちの元気について
- 2　ごみ処理広域化の課題について
  - (1) 1市2町ごみ処理広域化の展望
  - (2) 相模小学校の移転
  - (3) 余熱利用施設
- 3　防災対策について

秋澤　雅久：公明ひらつか（20分）
- 1　予防と健診について
- 2　中小企業支援策について
  - (1) 雇用のミスマッチ解消へむけて
  - (2) 動画による中小企業の情報発信支援

伊藤　裕：平塚クラブ（25分）
- 1　市民は平塚市民であることに満足しているか
- 2　子育てするなら平塚でと言えるか

山口　聖：湘南民主クラブ（15分）
- 1　「住みやすいまち・平塚」を目指して
  - (1) 道路整備について

吉野　和美：清風クラブ（20分）
- 1　災害対策と危機管理について
  - (1) 危機の認定と責任
  - (2) 災害時要援護者への避難支援
  - (3) 市・県指定緊急輸送路の確保
- 2　家畜伝染病対策について

永田　美典：公明ひらつか（15分）
- 1　「新しい福祉」について
  - (1)「心の病」うつ病対策
- 2　「買い物弱者」対策について

端　文昭：市民派の会（30分）
- 1　大藏市長に問う
  - (1) 女性市長はどうして生まれたのか
  - (2) 市長の2期8年、その成果と限界
- 2　平成23年度当初予算案から
  - (1) 駅西口駐輪場整備とバリアフリー
  - (2) 三大事業について
  - (3) 子どもにかかわる施策
- 3　諸課題
  - (1) 米海軍ヘリコプターの不時着
  - (2) JR上の小川跨線橋

渡辺　敏光：日本共産党平塚市議会議員団（30分）
- 1　市長に問う
  - (1) 市民のくらしの実態から
    - ア　市の景気対策
    - イ　国民健康保険税率引き上げについて
    - ウ　小児医療費助成制度の充実
  - (2) 中学校給食について
  - (3) 新プラネタリウムの活用について

江口　友子：無所属（15分）
- 1　議案第14号　平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
  - (1) 保険税の値上げと国保世帯の状況
  - (2) 日曜相談窓口の開設を

高橋　紀英：無所属（15分）
- 1　市民参加のまちづくりについて
  - (1) 市政への参加
  - (2) 地域活動・市民活動への参加
  - (3) 市職員の地域活動への参加

厚見　利子：無所属（15分）
- 1　湘南西ブロック平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画
  - (1) 骨子案について
  - (2) ごみの減量化について